

今週のテーマ

1. 一週間のまとめ

(1) 与党陣営の動き

～政治対立深化も経済的には関係改善～

..... 1 p

(2) 野党陣営の動き

～MCM 国際包囲網の強化を歓迎～

..... 3 p

(3) 外国の動き

～ガイアナ 現職大統領が再選か～

..... 3 p

(4) 今週、来週の主なイベント

..... 4 p

(5) 債券の元利不払い状況

..... 5 p

2. トランプ政権による

麻薬取り締まりオペレーションまとめ

..... 6 p

3. 軍事衝突の可能性はあるか？

..... 12 p

債券指標の動き

4. ベネズエラ債券・経済指標の増減

..... 13 p

カントリーリスク分析



(写真) Truth Social@トランプ大統領

”米国南部軍 ベネズエラを出発したとされる麻薬密輸船を爆破”

一週間のまとめ（2025年8月31日～9月6日）

(1) 与党陣営の動き ～政治対立深化も経済的には関係改善～

前号「[カントリーリスク・レポート No.422](#)」でも紹介した通り、マドゥロ政権は、トランプ政権が進めているカリブ海での麻薬取り締まりオペレーションに対して、強い拒否感を示している。

本件に関しては、本稿「[2. トランプ政権による麻薬取り締まりオペレーション](#)」にて後述するが、マドゥロ大統領は「一連のオペレーションの真の実行者は、マルコ・ルビオ国務長官」との認識を示しており、トランプ大統領に対しては「ルビオから虚偽の情報を受け取っている」とのメッセージを発信。

トランプ大統領への直接的な批判は最小限にとどめ、トランプ大統領に対して話し合いを求めている。

POINT

マドゥロ大統領 「トランプ大統領はルビオ国務長官に騙されている」と主張。

トランプ大統領に話し合い求めるが、トランプ大統領はマドゥロ大統領の要請を無視。

政治関係が悪化する一方で、新たな米国企業がベネズエラでの活動開始を発表するなど、経済的な関係は接近。

マドゥロ大統領は

「太陽カルテル（ベネズエラ国軍高官を中心とするグループ）は架空の存在」「ベネズエラが麻薬生産国でないことは国連が発表しており、麻薬ルートとしても小規模」

「ベネズエラから米国へ流れる麻薬は全体の5%のみで、大半は太平洋経由」「ベネズエラ政府は、麻薬取り締まりを行っている」と主張。

「太陽カルテルが犯罪組織と結託し、米国へ大量の麻薬を送り込んでいる」との説明は、マルコ・ルビオ国務長官の虚偽の説明であると訴えている。

ただし、現在のところトランプ大統領は、マドゥロ大統領の呼びかけには一切応じておらず、積極的にマドゥロ政権への圧力強化を進めている。

政治的に米国とベネズエラの関係が悪化する一方で、経済的には Chevron のベネズエラでの産油活動および原油輸出が再開している。

ロイター通信によると、25年8月のベネズエラの原油・石油製品輸出量は日量96.6万バレルと、過去9カ月で最も多く、好調を維持している（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1265](#)」）。

また、米国テキサス州のエネルギー会社「Sunergon Oil Operating LLC」が、ベネズエラでのメンテナンスサービスを開始すると発表。同社の Alejandro Terán 役員は、オリノコ流域での産油活動を支援するために協力会社を経由して1億5400万ドルの投資を行うと述べた。

Terán 氏は、同事業によりベネズエラの産油量は、日量2万バレル増産し、200人超の直接雇用を創出すると説明している。

米国企業によるベネズエラでの事業には制裁ライセンスが必要であり、普通に考えれば Sunergon Oil Operating LLC はトランプ政権から制裁ライセンスを得たことになる。

政治的な対立が悪化する一方で、エネルギー分野では協力関係が進んでおり、矛盾した状況になっている。

POINT

**MCM 氏 米国政府に
よるマドゥロ政権への
圧力強化を歓迎。**

**カベジヨ内務司法相
MCM 氏に対して、拘束
の可能性を示唆。**

**ガイアナ大統領選 Ali
現大統領の再選が濃
厚。マドゥロ政権との
関係は現状維持。**

（2）野党陣営の動き ～MCM 国際包囲網の強化を歓迎～

9月2日 野党のリーダーであるマリア・コリナ・マチャド氏（MCM）は、パナマで行われたフォーラムにオンラインで参加。トランプ政権によるマドゥロ政権への圧力強化を歓迎した。

MCM 氏は、

「米国によるカリブ海での軍事オペレーションは、ベネズエラに対するものではない」「世界で数十万人の命を奪っている麻薬犯罪組織に対するオペレーションである」「ベネズエラの大統領府には犯罪組織が存在する」「西側の民主主義国による麻薬テロ組織への包囲網は日々強化されている」「彼らがどのような脅しをかけたとしても、犯罪組織の命運が尽きつつあることを我々は知っている」と言及した。

この発言を受けて、ディオスダード・カベジヨ内務司法相は

「もし我々に圧力をかけるようであれば、我々も圧力をかける」

「我々を攻撃したにも関わらず、自分が無傷で済むと思っはいけない」

「そのようなことはあり得ない」と反応。

ベネズエラ国内で潜伏している MCM 氏を拘束する可能性を示唆した。

（3）外国の動き ～ガイアナ 現職大統領が再選か～

9月1日にガイアナで大統領選が行われた。

現時点で選挙当局は公式な発表をしていないが、Irfaan Ali 現大統領が再選したと報じられており、Ali 大統領も自身が再選したと発言している。

Ali 大統領は、米国政府との関係が良好である一方、ベネズエラとエセキボ地域の領有権をめぐる領土問題を抱えており、マドゥロ政権とは敵対関係にある。また、米国の「ExxonMobil」を中心とするエネルギー会社が、エセキボ地域の油田開発を進めており、経済的にも米国と強い関係を構築している。

ガイアナの大統領任期は5年間。

今後もマドゥロ政権とガイアナ政府との関係は現状維持が予見される。

（４）今週、来週の主なイベント

今週はカリブ海諸国でベネズエラに関する対応の変化が見られた。

9月1日 パナマはベネズエラ国内での領事業務を再開した。

これはマドゥロ政権にとっては外交関係の前進であり、ポジティブなニュースと言える。

一方、9月2日にドミニカ共和国は太陽カルテルを国際テロ組織に指定。9月4日にトリニダード・トバゴ（TT）の航空会社 Caribbean Airline が、9月中の TTーベネズエラ路線の運航停止を発表した。両国は、トランプ政権の軍事オペレーションを支持しており、マドゥロ政権との関係は悪化することになる。

表： 8月31日～9月6日に起きた主なイベント

日付			内容
8月	31日	日	
9月	1日	月	ガイアナで総選挙（大統領選および国会議員選）実施
			パナマ政府 ベネズエラ国内で領事業務を再開
	2日	火	トランプ大統領 ベネズエラを出発した麻薬密輸船を爆破したと発表
			マドゥロ政権 船舶の爆破映像はAIによる偽物と主張
			ドミニカ共和国 太陽カルテルを国際テロ組織に指定
	3日	水	
	4日	木	Caribbean Airline トリニダード・トバゴーベネズエラ路線運航停止
			米国防総省 米軍艦の上空をベネズエラ軍用機が飛行したと発表
	5日	金	
	6日	土	

表： 9月7日～9月14日に予定されている主なイベント

日付			内容
9月	7日	日	
	8日	月	
	9日	火	
	10日	水	在米ベネズエラ人保護措置TPS 失効予定日
	11日	木	
	12日	金	
	13日	土	
	14日	日	

（５）債券の元利不払い状況

表：ベネズエラ債券の債務不履行額（９月５日時点）

（単位：１００万ドル）

種類	債券	満期	利率	各年利払日	元本	利息	合計
国債	国債１９	１９年１０月１３日	7.75%	4/13 10/13	2,495	1,546.9	4,041.9
	国債２４	２４年１０月１３日	8.25%	4/13 10/13	2,495	1,646.7	4,141.7
	国債２５	２５年４月２１日	7.65%	4/21 10/21	1,600	1,040.4	2,640.4
	国債２６	２６年１０月２１日	11.75%	4/21 10/21	3,000	2,291.3	5,291.3
	国債２３	２３年７月５日	9.00%	1/5 7/5	2,000	1,530.0	3,530.0
	国債２８	２８年５月７日	9.25%	5/7 11/7	2,000	1,480.0	3,480.0
	国債１８	１８年１２月１日	7.00%	6/1 12/1	1,000	595.0	1,595.0
	国債２０	２０年１２月９日	6.00%	6/9 12/9	1,500	720.0	2,220.0
	国債３４	３４年１月１３日	9.38%	1/31 7/13	1,500	1,125.0	2,625.0
	国債３１	３１年８月５日	11.95%	2/5 8/5	4,200	4,015.2	8,215.2
	国債１８	１８年８月１５日	13.63%	2/15 8/15	300	327.0	627.0
	国債１８Ｆ	１８年８月１５日	13.63%	2/15 8/15	752	819.7	1,571.7
	国債２２	２２年８月２３日	12.75%	2/23 8/23	3,000	3,060.0	6,060.0
	国債２７	２７年９月１５日	9.25%	3/15 9/15	4,000	2,775.0	6,775.0
	国債３８	３８年３月３１日	7.00%	3/31 9/31	1,250	656.3	1,906.3
グレースピリオド満了未払					31,092	23,628.4	54,720.4
種類	債券	満期	利率	各年利払日	元本	利息	合計
PDVSA債	PDVSA２６	２６年１１月１５日	6.00%	5/15 11/15	4,500	2,160	6,660.0
	PDVSA２４	２４年５月１６日	6.00%	5/16 11/16	5,000	2,400	7,400.0
	PDVSA２１	２１年１１月１７日	9.00%	5/17 11/17	2,394	1,724	4,117.7
	PDVSA３５	３５年５月１７日	9.75%	5/17 11/17	3,000	2,340	5,340.0
	PDVSA２２０	２２年２月１７日	12.75%	2/17 8/17	3,000	3,251	6,251.3
	PDVSA２７	２７年４月１２日	5.38%	4/12 10/12	3,000	1,290	4,290.0
	PDVSA３７	３７年４月１２日	9.75%	4/12 10/12	1,500	1,170	2,670.0
	PDVSA２２	２２年１０月２８日	6.00%	4/28 10/28	3,000	1,530	4,530.0
	PDVSA２０	２０年１０月２７日	8.50%	4/27 10/27	1,684	1,217	2,900.3
グレースピリオド満了未払					27,078	17,081.5	44,159.3
電力債１８		１８年４月１０日	8.50%	4/10 10/10	650.0	414.4	1,064.4
グレースピリオド満了未払					650.0	414.4	1,064.4
合計					58,820	41,124	99,944

（出所）Av Security よりベネインベストメント作成

POINT

2. トランプ政権による麻薬取り締まりオペレーションまとめ

トランプ政権によるカリブ海での麻薬取り締まりオペレーションが進展しており、同オペレーションに伴うマドゥロ政権との対立は加熱している。

両国政府は故チャベス政権時代から犬猿の中で、これまで何度も対立してきたが、多くの場合は「言い争い」の域を超えなかった。しかし、今回は米国政府がベネズエラ近海に複数の軍艦を派遣している点で武力衝突の懸念があり、これまでの政治対立よりも深刻な状況と言える。

多くの専門家がトランプ政権によるベネズエラへの武力攻撃の可能性について懐疑的な見方をしており、筆者も同様の認識をしているが、トランプ大統領の行動が予測しづらいことも事実である。

仮に両国の軍事力が衝突することになれば、現地で活動する駐在員・従業員の安全に重大な懸念が生じることになる。また、両国が衝突すれば、ベネズエラ経済への影響も不可避、ベネズエラ債券の市場価格も大きく変動することになるだろう。

「[2. トランプ政権による麻薬取り締まりオペレーションまとめ](#)」では、米国政府によるカリブ海での麻薬取り締まりオペレーションに関する周辺情報を整理し、「[3. 軍事衝突の可能性はあるか？](#)」では、今後の可能性について考察してみたい。

(1) トランプ政権 カリブ海で麻薬取り締まりオペレーション開始

トランプ政権によるカリブ海での麻薬取り締まりオペレーション開始が報じられたのは8月14日（[「ベネズエラ・トゥデイ No.1256」](#)）。

米国のマルコ・ルビオ国務長官は「麻薬テロ組織による脅威に対処する必要がある」と同オペレーションの開始を説明した。

この麻薬テロ組織とは「Tren de Aragua（TDA）」「Cartel de los Soles（太陽カルテル）」を指している。

トランプ政権 カリブ
海での麻薬取り締まり
オペレーションを実
施。

仮に武力衝突が起これ
ば日本企業の駐在員・
重要員の安全、ベネズ
エラ経済、債券市場も
影響を受ける。

POINT

トランプ政権は、「マドゥロ政権＝麻薬密輸をコントロールする犯罪組織」との認識の上で、カリブ海での麻薬取り締まりオペレーションを実施。

実質的には、マドゥロ政権をターゲットにしたオペレーションになる。

2025年2月19日 トランプ政権は TDA を国際テロ組織に指定すると発表（[「ベネズエラ・トゥデイ No.1181」](#)）。

7月26日には、太陽カルテルも国際テロ組織に指定した（[「ベネズエラ・トゥデイ No.1248」](#)）。

その後、8月7日に米国検察庁は、マドゥロ大統領の懸賞金を2500万ドルから5000万ドルに引き上げ、翌8日にはディオスダード・カベジョ内務司法相への懸賞金も1000万ドルから2500万ドルに引き上げ、パドリーノ・ロペス国防相へは1500万ドルの懸賞金をかけた（[「ベネズエラ・トゥデイ No.1254」](#)）。

Bondi 検事総長は、「ニコラス・マドゥロは犯罪組織 TDA、シナロア・カルテル、太陽カルテルをコントロールしている人物であり、米国に麻薬を流入させている」と指摘（[「ベネズエラ・トゥデイ No.1253」](#)）。

ただし、マドゥロ政権と TDA の関係について、米国の18情報組織のうち17組織は、TDA とマドゥロ政権の従属的な関係を立証できないとの結論を出しており、FBI のみが、「両者にはゆるやかな関係が存在する」と推測しているという（[「ベネズエラ・トゥデイ No.1206」](#)）。

このような背景の中で8月14日からカリブ海での麻薬取り締まりオペレーションを開始しており、「カリブ海での麻薬取り締まり＝マドゥロ政権取り締まり」という意味合いを持っている。

なお、トランプ政権は、「ベネズエラ経由で大量の麻薬が米国に流入している」との認識を示しているが、「国連薬物・犯罪事務所」の「世界麻薬報告書2025」によると、ベネズエラは麻薬栽培国ではない。

また、米国へ流入する麻薬の多くはエクアドル、ペルー経由で流れており、ベネズエラからカリブ海経由のルートはそこまで多くないと認識されている（[「ウィークリーレポート No.421」](#)）。

ベネズエラが麻薬ルートの1つであることは間違いないが、小規模なルートに米国のリソースを割り当て過ぎている点で、麻薬取り締まりオペレーションとしての有用性を疑問視する意見は一定数存在する。

POINT

（2）米軍によるオペレーションへの軍配備状況

現時点で把握できている情報では、米国南部軍は同オペレーションに軍艦8隻、原子力潜水艦、複数の軍用機、4500人超の軍人を割いており、その多くをカリブ海南部に集めている。

トランプ政権は、「ベネズエラ経由で大量の麻薬が米国に流入している」との認識を示しており、ベネズエラ近海で取り締まりを強化するのは自然なことではある。

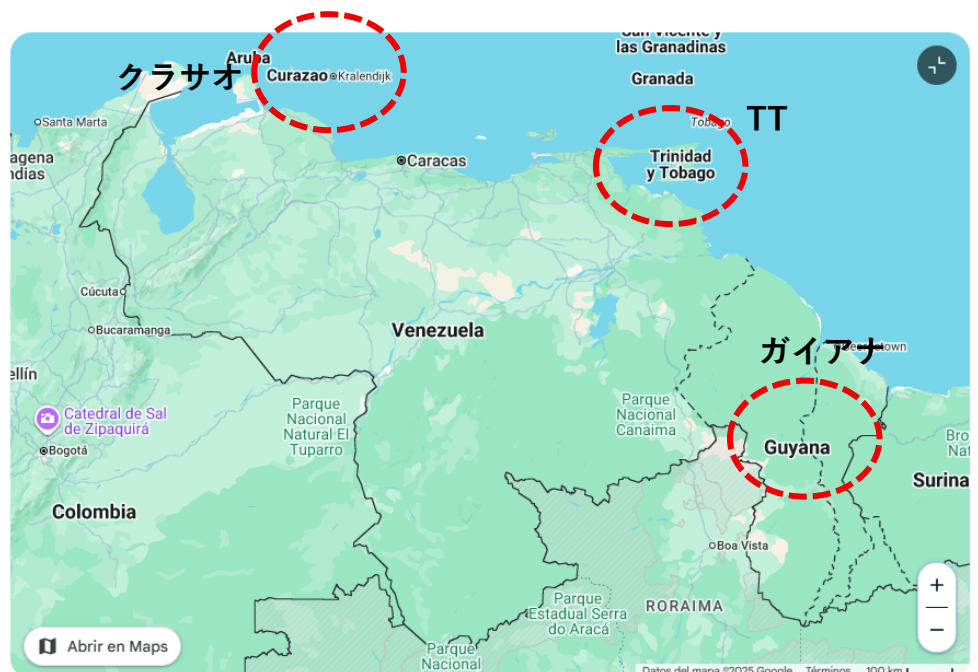
同オペレーションで重要なのは、ガイアナとトリニダード・トバゴ（TT）。

両国はトランプ政権の友好国であり、同オペレーションに全面的な協力意思を示している。

トランプ政権が同オペレーションの実施を正当化できるのも、カリブ海南部に武力を集中できるのも、これらの国の協力によるところが大きい。

なお、ガイアナとトリニダード・トバゴほど積極的な関与は見せていないが、蘭領クラサオも同オペレーションに協力している。

下地図の通り、ベネズエラの至近距離に米国軍が配置されている。



（写真） Google MAP

米国 トリニダード・
トバゴ、ガイアナ、クラ
サオなどベネズエラ周
辺地域に軍を展開。

4500人超の兵力、
軍艦8隻、原子力潜水
艦、軍用機などを配備。

POINT

9月2日 トランプ大統領は、「米国南部軍の責任区域において、ベネズエラから出発した麻薬密輸船を爆破。

この攻撃で11名のテロリストを殺害した」と説明。

ただし、その真偽について疑問点が残る。

マドゥロ政権は、虚偽の発表と主張。

(3) 米国軍 麻薬密輸船を爆破、11人死亡

マドゥロ政権は、米国による武力展開に警戒感を強めていたが、この状況が一段上のステージに移行したのが9月2日。

9月2日 トランプ大統領は、ベネズエラから出発した麻薬密輸船を爆破したと発表。同爆破により乗船していた11人が死亡したと説明した（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1264](#)」）。攻撃した船舶はTDAが所有する船舶で、搭乗していたのはTDAのテロリストだったと補足した。

また、トランプ大統領は、麻薬密輸船が爆発する瞬間を映した動画を投稿。「米国軍はSOUTHCOC（米国南部軍）の責任区域において、TDAのテロリストに対する物理的攻撃を行った」「TDAは、国際テロ組織に指定されており、ニコラス・マドゥロのコントロール下で活動をしている」と補足した。

ただし、トランプ政権は爆破した船舶について、具体的にベネズエラのどの地域から出発し、どこで爆破攻撃を仕掛けたか、爆破した手段、爆破するに至った経緯について一切の説明をしていない。

また、死亡した11人の氏名も明らかにしておらず、この船舶の乗組員がTDAの構成員であると特定できた理由、同船舶に麻薬が積まれていたと断定するに至った根拠も提示していない。

そもそも通常の麻薬取り締まりプロセスにおいて、最初に行うことは密輸船を停止させ、乗組員を逮捕することであり、映像にあるように走行中の船舶を爆破するという状況は違和感がある。

そのような理由もあり、マドゥロ政権の情報通信省および検察庁は「船舶の爆破映像はAIによる偽物であり、トランプ政権による虚偽の発表」とコメントしている。ただし、マドゥロ大統領自身は、今回の一件について明確なコメントをしていない。

一方で、「トランプ政権は実際に船舶を爆破した」との報道も現れ始めている。

POINT

麻薬密輸船への攻撃が
実際に行われたと説明
するジャーナリスト登
場。

ただし、依然として事
実と断定するには情報
不足。

本件は、国際的にも倫
理的にも、米国の安全
保障の観点からの極め
て重要な事象で続報が
待たれる。

ジャーナリストの Ronna Rísquez 氏は、野党系メディア「El Pitazo」の César Batiz 編集長との会話の中で、「米国軍が爆破した船舶は、スクレ州 San Juan de Urena を出発し、TT に向かう途中だった」とコメントした（[当該記事](#)）。

Rísquez 氏によると、爆破された船舶が San Juan de Urena を出発したのは 9 月 1 日。Urena の市民 8 人、近隣の市民 3 人が殺害された。
また、この船舶は長さ 12 メートル、幅 2.5 メートルの高速艇で、200 馬力のエンジンを 4 基搭載していたという。
なお、この船舶が爆破される前にも 2 隻の船舶が麻薬を積んで運航したが、攻撃されなかったという。

「Urena の住民は今回の件で狼狽している」「殺害された乗組員の何人かは知り合いだったからだ」とコメントした。

この記事は説得力があるように思えるが、Rísquez 氏は、「Tren de Aragua : ラテンアメリカの犯罪組織を変えた巨大犯罪組織」という書籍の著者であり、野党系ジャーナリストである。

政府が取り巻きのジャーナリストやメディアに（虚偽を含めて）非公式情報を流させて、情報操作をするのは常套手段であり、容易に信じることもできない。

また、前述の通り、トランプ大統領は、今回の船舶襲撃についてほとんど説明しておらず、この船舶の襲撃が事実だったとすれば、国際法的にも倫理的にも米国の安全保障の観点（ベネズエラとの戦争の可能性が大きく高まる）からも大きな問題になる。

「CNN」によると、米国議会は、今回の船舶襲撃についての説明を求めており、9 月 5 日の午前中に説明会が行われる予定だったが、関係者の情報によると、特段の理由なくキャンセルされたという。

今回の船舶攻撃について、多くの関係者が追加情報を求めており、真相の解明が強く求められている。

POINT

（4）マドゥロ政権の軍用機 米国軍艦の上空を飛行

米国の麻薬オペレーションに関して、マドゥロ政権はトランプ大統領に対して話し合いを求めており、基本的に受け身の姿勢ではあるが、直近では米国軍を挑発する行為が確認されている。

9月4日 米国国防総省は、ベネズエラの軍用機 F-16 が2機、米国軍艦「USS Jason Dunham（ジェイソン・ダンハム）」の上空を飛行した発表。マドゥロ政権に対して「極めて挑発的な行為」と批判した。

米国国防総省 マドゥ
ロ政権の軍用機2機が
米国軍艦の上空を飛行
したと発表。

その後、米国財務省の元テロ資金対策担当補佐官が自身のソーシャルメディア・アカウントにて F-16 を操縦していたとされるベネズエラ軍人の名前と顔写真を投稿。1人は Cruz Alfredo Esteves Silva 氏（44歳）、もう1人は Alfredo Tanzella Rangel 氏（55歳）だったという（下写真）。



トランプ大統領 「必
要ならば追撃する可能
性がある」と言及。

トランプ大統領は、記者からの質問に対して「もし我々が危険な状況に追い込まれれば追撃するだろう」とコメントしており、武力衝突の可能性についても言及。CNN は、匿名関係者からの情報として「トランプ大統領は、ベネズエラ国内での活動を含めて犯罪組織との戦闘を検討している」と報じている。

POINT

3. 軍事衝突の可能性はあるか？

「[2. トランプ政権による麻薬取り締まりオペレーションまとめ](#)」の通り、両国の軍事的な緊張は高まっている。

ただし、9月4日の時点でマドゥロ大統領は「現在は武力行使のステージではない」「政治・意思疎通のステージである」「我々が攻撃をすることはない」との見解を示しており、政治的な手段での問題解決を求めている。

一方で、「米国が攻撃を仕掛けてきた場合は、領土と自国主権と平和を守るために武力を行使するステージに入る」とコメント。米国政府が先に攻撃を仕掛けてきた場合は、武力を行使すると言及している。

前述の通り、一連の軍事的な緊張の高まりはトランプ政権側が一方的に進めている面があり、場合によっては、米国軍がベネズエラの軍用機を打ち落とす可能性は否定できない。また、トランプ政権が「ベネズエラ軍が攻撃を仕掛けてきた」と発表し、攻撃を正当化する可能性も否定できない。

万が一、そうなれば両国の軍事衝突が起きる可能性が現実味を帯びる。

なお、これまでの流れを見る限り、軍事衝突の懸念が高まるとベネズエラ債の市場価格が高まる傾向にあるようだ（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1265](#)」）。証券分野の専門家によると、軍事衝突により政権交代の可能性が高まることが理由と説明している。

政権交代が実現すれば、ベネズエラの経済状況は大きく好転するだろう。

ただし、軍事衝突が起きて政権交代が達成できなかった場合、ベネズエラは社会・政治・経済などあらゆる面で著しい問題を抱えることになる。

野党への取り締まりが更に強化され、マリア・コリナ・マチャド氏を支持する野党グループは全員逮捕あるいは国外逃亡が現実的なシナリオになる。

武力衝突はもろ刃の剣であり、その実行には十分な考慮が必要である。

マドゥロ政権から攻撃
を仕掛ける可能性は低
く、攻撃があるとすれ
ばトランプ政権から。

米国軍がベネズエラの
軍用機を追撃するか、
「ベネズエラ軍から攻
撃を受けた」と理由を
付けて、攻撃を正当化
するか。

4. ベネズエラ債券・経済指標の増減（9月5日時点）

解説

銘柄	利率	満期	BID	ASK	平均	先週比
2018-I	13.625	2018/8/15	17.25	18.25	17.75	△ 4.70
2018-II	13.625	2018/8/15	22.35	23.60	22.98	4.20
2018	7	2018/12/1	17.90	19.25	18.58	4.80
2019	7.75	2019/10/13	17.60	18.85	18.23	6.58
2020	6	2020/12/9	17.60	18.85	18.23	7.36
2022	12.75	2022/8/23	22.30	23.80	23.05	6.84
2023	9	2023/7/5	19.95	21.25	20.60	3.52
2024	8.25	2024/10/13	19.65	21.10	20.38	3.43
2025	7.65	2025/4/21	19.80	21.05	20.43	2.38
2026	11.75	2026/10/21	23.40	24.55	23.98	5.62
2027	9.25	2027/9/15	23.30	24.70	24.00	3.67
2028	9.25	2028/5/7	22.40	23.60	23.00	5.99
2031	11.95	2031/8/5	23.50	24.55	24.03	7.74
2034	9.375	2034/1/13	27.70	28.95	28.33	4.71
2038	7	2038/3/31	21.55	22.75	22.15	5.48
電力債 2018	8.5	2018/4/10	7.15	8.75	7.95	6.71

ベネズエラ債（国債・PDVSA社債）は、国債 18-I を除き全ての銘柄で先週比プラスになった。

主な理由は、米国の麻薬取り締まりオペレーションの実施と、マドゥロ政権との武力衝突の可能性の高まり。

	利率 %	満期	BID	ASK	平均	先週比
2020	8.5	2020/10/27	97.40	99.65	98.53	2.47
2021	9	2021/11/17	15.70	17.00	16.35	4.14
P 2022	12.75	2022/2/17	17.50	18.90	18.20	7.37
D 2022(N)	6	2022/10/28	13.05	14.55	13.80	7.18
V 2024	6	2024/5/16	15.40	16.65	16.03	5.60
S 2026	6	2026/11/15	15.30	16.70	16.00	5.09
A 2027	5.375	2027/4/12	15.55	16.75	16.15	5.73
2035	9.75	2035/5/17	17.50	18.80	18.15	5.52
2037	5.5	2037/4/12	15.20	16.65	15.93	7.97

本稿「[3. 軍事衝突の可能性はあるか？](#)」で触れた通り、武力衝突の可能性が高まると政権交代の期待から債券価格が上昇する構図が見える。

ただし、本格的な武力衝突が実際に起きたにも関わらず、政権交代に失敗すればベネズエラ債の返済はかなり絶望的な状況になるだろう。

	百万ドル	先週比
外貨準備	12,233	0.29

為替レート	ボリ／ドル	先週比
両替テーブル	154.01	3.75
並行レート(Binance)	217.54	7.23

以上

（出所）Avsecurity、ベネズエラ中央銀行、
Exchange Monitor